

ダライ・ラマ法王と並ぶ世界的佛教者であり、マインドフルネスの第一人者 ティク・ナット・ハン師の佛教理論・布教方法との交流

プラムヴィレッジ僧侶団

マインドフルネス来日ツアー 2018

WFBY世界大会／世界佛教徒青年会議日本大会慶讚

日本伝統佛教者ための マインドフルリート

～日本佛教とプラムヴィレッジの相互対話～

2018年5月8日.火～5月10日.木

大本山總持寺 神奈川県横浜市鶴見区鶴見2-1-1

<http://tnhsangha.wixsite.com/2018pvjapantour>



※ティク・ナット・ハン師は来日しません。



主催/全日本佛教青年会、プラムヴィレッジ招聘委員会
協力/大本山總持寺、公益財團法人佛教伝道協会

プラム・ヴィレッジ僧侶団 マインドフルネス来日ツアー

<http://tnhsangha.wixsite.com/2018pvjapanntour>

2018

詳細
お申し込み
お問い合わせ

全日本佛教青年会

<http://www.jyba.ne.jp>
E-mail info@jyba.ne.jp

日本伝統佛教者向けマインドフルリトリート ～日本佛教とプラム・ヴィレッジの相互対話～

2018年5月8日(火)～5月10日(木)

本会・全日本佛教会はこの数年間、本年2018年11月開催、「世界佛教徒会議・世界佛教徒青年会議日本大会(WFB・WFBY世界大会)」の準備と共に、2020年開催東京オリンピックをも念頭に置き、日本と日本佛教界の国際化を目的とした活動に邁進して参りました。その積極的活動の結果の一つとして、ティク・ナット・ハン師と僧侶団「プラム・ヴィレッジ」の皆様との間に、有り難くも親密な関係性を築かせていただきました。

プラム・ヴィレッジの皆様との合同研修は、早くも今回で4回目となります。平成27年5月11日開催されました第1回研修「プラム・ヴィレッジの高僧30名vs日本の青年僧100名対話会」(於・曹洞宗檀信徒会館)の大成功をもとに、平成28年5月9～10日には第2回研修「応用仏教—ブッダの教えを現代に生かすためにー」(於・大本山増上寺)、平成29年5月8～10日には第3回研修「日本伝統佛教とプラム・ヴィレッジ僧侶団の相互対話」(於・大本山増上寺)を開催致しました。4回目となる今年は、昨年の2泊3日という濃密なプログラムをそのまま踏襲し、同様に「日本佛教とプラム・ヴィレッジの相互対話」と銘打った国際交流研修を、上記の世界佛教徒会議日本大会会場となる大本山總持寺にて、世界大会慶讃事業として開催させて頂く運びとなりました。



現代日本社会とともに迎えるべき、日本佛教界の本来の国際化に際し、国内における今後の布教伝道と佛教文化敷衍の在り方を改めて考えることは、伝統佛教と日本文化の承継者である私たちにとって、私たち自身の存続のためにも必要不可欠なことと言えます。その確信を以て、世界を席巻する「マインドフルネス」をレクチャーのコンセプトにし、超宗派日本佛教研修、グループシェアリングとともに、参加者の深い相互理解を促し、日本佛教とベトナム佛教、双方向のフィードバックをはかることによって、新しい佛教の国際基準を模索して参りたいと思います。今回は特に、海外における主流となる佛教トレーニング「瞑想」に焦点を当て、「坐禅」「阿字観」「ヴィパッサナー瞑想」、そして「マインドフルネス」等各種瞑想法の体験、レクチャーをコミュニケーションの題材にしながら、日本伝統佛教とプラム・ヴィレッジが追求し続ける先進佛教との相互対話を試みます。

世界佛教者の第一人者として欧米で名前を馳せ、医学界でも大きな注目を浴びる「マインドフルネス」の提唱者ティク・ナット・ハン師と、大乘佛教界最大の勢力を持つ日本伝統佛教の、佛教理論と布教方法についての真剣な対話による相互作用は、今後の世界佛教のあるべき方向性を一つの指針として創出する可能性を持つとともに、私たち日本僧侶の現場における布教実践の大きな参考になると見えます。さらに、この研修会は、国際化する日本社会に呼応し、日本佛教界が将来の佛教者に必要としていく「宗教者としてバランスのとれた国際感覚」を、その深い国際交流によって養うことも出来る機会となります。この貴重な研修プログラムに、是非ともご参加いただけすると幸いに存じ上げます。どうぞ宜しくお願い申上げます。

開催のご案内

平成30年
5月8日(火)～10日(木)
2泊3日
※ 8日午後1時開会
10日正午解散

●場所 大本山總持寺
神奈川県横浜市鶴見区鶴見 2-1-1

●参加費 20,000円(2泊3日宿泊費・食費・テキスト代含む)

●お申し込み方法

マインドフルネス来日ツアー2018ホームページ内のお申し込みフォームをご利用になるか、全日本佛教青年会まで直接メールでお申し込み下さい。

メール申し込みの場合は、
本文に

①氏名 ②住所 ③電話番号 ④メールアドレス
⑤生年月日 ⑥性別 ⑦所属寺院名又は所属団体名(所属寺院名には都道府県と宗派を記入して下さい) ⑧所属宗派名(ない場合は「無し」とお書き下さい) ⑨大部屋での宿泊可否(個室での宿泊を希望の方は各自でお願いしております。事務局にお問い合わせください。) ⑩その他ご連絡事項をご記入下さい。

メールの件名は「マインドフルリトリート」として下さい。

全日本佛教青年会 E-mail info@jyba.ne.jp

全日本佛教青年会 理事長 倉島隆行
国際委員長 東海林良昌
世界佛教徒青年連盟 会長代行 村山博雅

全日本佛教青年会とは

全日本佛教青年会は、9宗派(天台宗・金峯山修驗本宗・和宗・真言宗・淨土宗・融通念佛宗・臨済宗・曹洞宗・日蓮宗)の全国青年会と4地域(埼玉県・神奈川県・大阪府・神戸)の都道府県レベル地域青年会の連絡協議体であり、その加盟団体1つより選出された理事長を中心に、各加盟団体の会長、副会長、事務局長等を副理事長、理事として組織される理事会により意志決定が諮られる日本最大の佛教青年会です。その目的の一つは、宗派・地域の垣根を越えた全国の青年僧侶の連携であり、そのネットワークによって成り立つ時代に即応した佛教青年会活動の運営です。そしてもう一つの目的は、All Japan Young Buddhist Association(JYBA)として、16カ国42団体が加盟する世界最大の佛教青年会である世界佛教徒青年連盟(WFBY)の唯一の日本センターを務め、全宗派を通じた日本を代表する佛教青年会として、海外の佛教徒と深く交流し、全世界に広く佛教文化と智慧を発信・継承し、人々の幸せと世界平和の進展に寄与することにあります。



※プログラムの詳細については、HPをご覧ください。※メール、または申し込みフォームにて事前にお申し込み下さい。※プラム・ヴィレッジの僧侶団が来日して行うプログラムです。ティク・ナット・ハン師は来日しません。ご了承ください。